

最近の日本経済に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2016年の実質経済成長率は、前年比プラスであった。その背景として、雇用者報酬や企業収益が増加したことを受けて、個人消費が2014年の消費税増税前の水準を上回り、企業の設備投資も前年比で10%以上増加したことがある。
2. 日本銀行は消費者物価の前年比上昇率を2%とする物価安定の目標を置いていたが、2016年にこの目標を1%に引き下げるとともに、金融政策の操作目標を通貨量とし、金利は操作目標から外された。
3. 雇用情勢を見ると、求人数が求職者数を上回り2016年の有効求人倍率は1を上回って推移した。高齢者や女性を中心に雇用者数が増加し、雇用形態別に見ると、非正規雇用者だけでなく正規雇用者についても2015年より増加した。
4. 政府は、2017年4月に予定されていた消費税率の引上げを延期した。その背景には、景気回復に伴う税収増加などにより、国と地方を合わせた基礎的財政収支が黒字化したことがある。
5. 東日本大震災以降赤字で推移していた貿易収支は、2016年に黒字に転じた。その背景としては、燃料価格の上昇などにより輸入額が増加したものの、新興国向け輸出が伸びたことで輸出額が大きく増加したことがある。

正 答 : 3

2016年11月に行われたアメリカ大統領選挙について述べた次の文中の下線部分ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

現在のアメリカ合衆国では、共和党と民主党の二大政党制が成立している。大統領選挙を行うに当たっては、まず各党の大統領候補が各州での予備選挙などを経て一人選ばれるようになっており、この度は、共和党ではドナルド・トランプ氏が、民主党ではヒラリー・クリントン氏がそれぞれ選ばれた。大統領選挙は、有権者が各州の大統領選挙人を選ぶための投票を行い、各州で選出された大統領選挙人が大統領候補への投票を行う形式である。今回の大統領選挙では、ア有権者からはクリントン氏がより多くの票を獲得したが、トランプ氏が大統領選挙人の過半数を獲得したため、トランプ氏が大統領に選出された。

選挙戦では、移民問題について、イクリントン氏が全ての不法移民を強制的に国外退去させることを訴えた一方で、トランプ氏は労働力確保の視点から移民の受入れを推進する政策を唱えた。また、医療保険制度の整備については、ウオバマ政権が加入者の拡大に消極的であったことを批判し、トランプ氏は国民皆保険制度の導入を訴えた。

また、大統領選挙と同日には連邦議会議員選挙が行われ、その結果、エ上院、下院ともに共和党が多数党となり、大統領の属する政党と連邦議会の多数党が異なるいわゆるねじれ状況は解消された。

1. ア, ウ
2. ア, エ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

正 答 : 2

水が入った三つのタンク A～C がある。A の水量は 100 L であり、B と C の水量の比は 2 : 3 である。いま、30 L の水をこれら三つのタンクに分けて追加したところ、三つのタンクの水量の比は追加する前と同じになった。また、A に追加した水量は B に追加した水量よりも 2 L 多かった。水を追加した後の C の水量は何 L か。

1. 99 L
2. 100 L
3. 121 L
4. 132 L
5. 143 L

正 答 : 4